

マーケットの動き (2021年11月8日～11月12日)

先週の国内リート市場は、前週末比で下落しました。
週初は、前週末の日米の金利低下を受けて上昇してスタートしたものの、その後は利益確定売りに押されたほか、市場予想を上回る10月の米国CPI(消費者物価指数)上昇を受けた日米の金利上昇により、上値の重い展開となりました。
セクター別では、オフィスセクターや住宅セクター、商業・物流等セクターが総じて下落しました。

投資環境見通し (2021年11月)

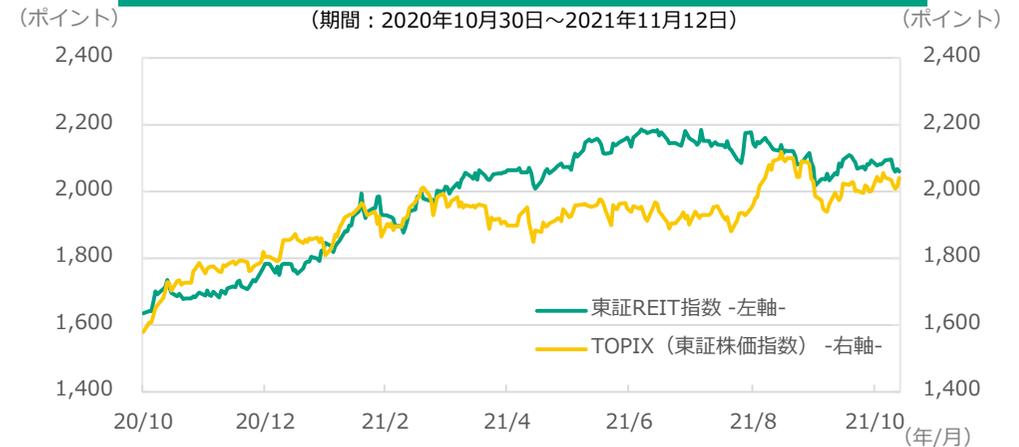
東証REIT指数は底堅く推移

商業施設への来店客数や宿泊施設への予約の増加、オフィス出勤率の回復など経済活動再開の動きが顕著になってきており、国内リーートの業績回復が期待されます。日銀の低金利政策が続く中、利回りを求める資金は引き続き多いとみており、東証REIT指数は底堅く推移すると予想しています。

	11月12日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	2,060.45	▲1.59%	0.47%	0.23%	20.06%
<ご参考> TOPIX (東証株価指数)	2,040.60	▲0.04%	2.92%	8.66%	18.21%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

東証REIT指数、TOPIXの推移



国内各種資産利回り



※出所: FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>